



静岡県内の幼児教育の質の向上を目指して

# わっ！ぴょん通信

発行・編集 静岡県幼児教育センター

TEL054-221-3287 FAX054-221-3558

## ただしく つよく なかよく

### 園訪問から 学校法人 清水花園学園八坂幼稚園

生命の尊さを学び、「食事できることへの感謝」「やさしく、素直な思いやりの心」を育て、「自分に強く」なれる子どもを育成することを教育方針とし、情操教育に力を入れていきます。

「アンパンマンの幼稚園」としても知られています。困っている人を助け、人にやさしさを分けるというアンパンマンの精神に園長先生が共感し、「子どもたちのためならいいよ。」とやなせたかし先生から公認をいただいたそうです。

訪問した日は、3歳児が体育館で運動遊びを行っていました。この時間を楽しみにしていたことが、嬉しそうに体育館に集まった笑顔にあふれていました。

「お父さん座り」「お母さん座り」「お兄さん座り」の声に、歓声をあげながら



機敏に動きを変えていく姿に、「見て！ほく、速くできるよ。」という主張が伝わってきます。先生は「うずきながら一人一人の目を見て」「うだね。上手にできているよ。」と認めの言葉掛けをしています。「車になって（あそび）まで行ってみよう」という動きでは、「Aちゃん、がんばれ！」と友達を応援する声が自然と上がり、どの子も最後まで一生懸命取り組んでいます。「二人組さんになって」の声掛けにもさっと自分から手を差し出し二人組になり、クラス友達みんなと親しくなっていることが伺えます。走る車をイメージした動きで、腰を上げ四つん這いで歩く中を友達が横転で進む動きでは、互いに友達の動きに合わせてようとしており、思いやりの気持ちが表れていました。

これらの遊びは、その後、園児の自発的な遊びに取り入れられたり、輪番で補助してくれる保護者から他の保護者にもその様子が伝わり、家でも兄弟、親子で行われたりするそうです。園児の興味の広がりによって十分に全身を動かし、活動意欲を満足させる体験が積み重ねられ、身体の調和的な発達が促されていることが感じられました。

## 人とかかわる豊かな体験

### 園訪問から 御殿場市立原里幼稚園

四月に入園する未就園児が保護者と一緒ににこにこしながら登園してきました。積み木やブロック、絵本、製作遊びなど興味のある遊びを楽しんだ後、年長児に手伝ってもらいながら身長と体重を計りました。年長児が進んで未就園児を誘いペアになり、洋服を脱ぐ手伝いと丁寧なたたむ姿に、保護者も感心していました。年長児は未就園児の手を優しく引きながら計器に向かい、立つ位置を教えたり先生の言う数値を復唱して記録カードを渡したりしました。

これは、「はらさとわくわくランド拡大版」の「コマで、御殿場市の地域子育て支援事業の一環として、次年度入園児親子を対象に原里幼稚園が始めた事業です。在園児や親子のふれあい、生活習慣の習得、子育て相談などが、月に一回行われています。「親同士も友達になれ、相談したり情報を得たりすることが出来る。」「生活の仕方を具体的に教えてもらい、子どもも分かるようになってきている。」などの声が聞かれ、成果が伺えます。



幼小の接続についても充実を図っています。

原里幼稚園と原里西幼稚園のほぼ全員が原里小学校に入学するため、原里西幼稚園の年長児と一緒に『こんな小学校に行きたいな』という活動をしていました。園児数の少ない原里西幼稚園とは以前から交流活動が行われていましたが、御殿場市において幼小接続の研究指定を受けたことにより、連携は一層深まっています。昨年十一月に五年生が『小学校は楽しいよ』という紹介をしてくれ、小学校の施設や備品、勉強に大きな期待をもった年長児たちが、園内に小学校を作ろうとしています。「ガイコツがあったよね。」「怖いけどおもしろそう。』と人体模型を作るグループもあります。

二月には幼稚園での公開保育、来年度六月には小学校での公開授業が計画されており、子供たちの成長の様子をそれぞれの教員同士で確認し合う研修が行われています。

さわやかさん  
インタビューコーナー

磐田市こども部幼稚園保育園課  
主幹 金澤 光雪

① 現職名とこれまでの経歴を教えてください。

「中学校の保健体育科教員、小学校教員、磐田市教育委員会教育総務課に勤務した後、小学校に勤め、現在は、磐田市こども部幼稚園保育園課主幹として3年目です。」

② 今の仕事のやりがいや面白さを教えてください。

「園を訪問し、遊びに夢中になっている子どもの言葉や姿から学んだり、子どもに寄り添う保育者の姿から学んだりすること。職員研修を考え実践し、参加者が明日からの意欲を高めること。また、円滑な幼小接続を目指し、幼小の職員が互いの教育への理解を深めていく姿などにやりがいや面白さを感じます。」

③ 磐田市の幼児教育の特色について教えてください。

『磐田市こども憲章』『“磐田の教育”道しるべ』を進むべき方向として、深い子ども理解をもとに『主体性を大切に、環境を通して行う保育』の実践を目指しています。本課としては研修面で、幼児教育専門官、主任、研修アドバイザーと共に職種などに応じた7つの研修を主催したり、小学校を含めた公私立園合同の研修会や地元の大学の力を借りての研修を行ったりしながら教育保育の質の向上を目指しています。行政面では、公立園について研修体制や職員異動などが10年

以上前から一元化されています。さらに、小学校教頭から園長や本課主幹として勤めることで幼小のパイプ役となり、後に小学校へ戻ることを通じて幼児教育と学校教育の相互理解が増えています。また、相互理解という点では、小学校だけでなく中学校の管理職や研修主任が、園の研修に参加する中学校区(学府)があることなどが特色に挙げられます。」



④ 休日にはどんなことをして過ごしていますか。

「休日には、公認スポーツ指導者や公認審判員として陸上競技に関わったり、新聞をじっくり読んだりスポーツ番組やバラエティ番組を見たりして過ごすことが多いです。」

⑤ 金澤主幹にとって、幼児教育の魅力とは何でしょうか。

「遊びを通して総合的に学ぶ、一つ一つ日々の積み重ねが、その後の人生を歩み出す力となっていく営みなど、子どもに寄り添い子どもの可能性を見い出す、引き出す、その芽を伸ばす教育であることです。」



Canada より No.4

ブリティッシュ コロンビア州

Growing Hands Childcare Centre 塚本 美帆

今日はカナダの保育園で一般的な「サークルタイム」の紹介を中心に、あるエピソードをお話させてください。

「サークルタイム」とは、子どもたちが半円状に座って先生を囲み、歌を歌ったり、絵本を読んだり、体を動かすゲームをしたりしながら、テーマに沿った学びを深める時間です。テーマは子どもたちの興味に基づいて決定します。保育士は、日々子どもたちがどんな遊びや会話をしていて、今興味があるものは何かということを観察し、記録しています。例えば子どもたちが外遊び中にてんとう虫を見つけて盛り上がりだしたとすれば、「昆虫」や「生き物」がテーマになり得るということです。

ある日、「消防士」をテーマにサークルタイムを行ったことがありました。家で火事が起こってしまった設定で、「どうしよう？助けが必要だ！誰に電話したらいいかな？」などの発問をし、子どもたちが「消防士！」「救急車も必要だよ。」などと答える形でストーリーが進んでいきます。最後は全員消防士になりきって、火を消すことを見立てた射的ゲームを行いました。

保育士冥利に尽きるのは、その学びの時間によって、子ども自身の世界を見る目が変わったことを実感できる瞬間です。消防士に関するサークルタイムのあと、普段通りに外遊びに子どもたちを連れて行きました。「Mihoh! Look!!」と、ある子どもが興奮して言うので、指をさされた方向を見てみると、そこにはレストランの煙突からの煙。子どもは「消防車を呼ばなくちゃ！」と続けました。大人にとってはいつもの風景の一部ですが、子どもの中では火と煙と消防車が一連の流れとして理解できた瞬間だったのかもしれないと思います。

子どもたちの吸収力の高さには日々驚かされます。週に1回フランス語のサークルタイムを行ってくれる先生がいるのですが、私には全く理解できないことも子どもたちはほとんど学び取っていき、日常生活のなかで「ブラボー」「アンドゥットロワ」などと言い始めます。

子どもの日々の成長をこんなに間近で見られる環境に感謝するとともに、それを促す存在として、保育士の力量をこれからも高めていきたいと考えています。

